

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育	①人権週間や道徳、いのちの学習等を通して、自分も他者も大切であると知り、多様性を受け入れようとする心を育てる。また、体験的活動については、保護者の参観を促すことで理解をはかる。 ②職員の人権意識を高めるために、研修を実施する。また、学年研・ブロック研の中で児童の情報交換や保護者との関係作りについて話す行う時間を設定し、職員同士が相談できる機会をもつ。
担当	

豊かな心に関わる本校の状況
<p>本校の児童は、素直で優しく、生き物や自然に親しんでいる子が多い。また、他者をありのまま受け入れることができる子も多い。小規模校であるため、互いのことを十分に理解し、受け入れることができている反面、人間関係に変化がないため、固定観念から脱しにくく、関係性を改善していくことが難しい。</p> <p>舞岡公園を中心に、体験的活動や地域の方とのかわりは充実している。</p> <p>職員の人権感覚は、現状はあまり食い違いは見られない。それは、職員室内で、日々職員同士子どもの話を沢山し、互いの考えを交流しているからである。しかし、ここ数年で職員も大きく入れ替わり、初任も着任していることを考え、研修を行いながら、人権感覚を磨いていく必要があると考える。また、児童指導でも、担任だけでなく、学年や学校で対応することができるようになってきた。今年度も連絡・報告・相談を密に行い、日常的に人権感覚を身につけていくことができるようにしたい。</p>

今年度の目標
①人権週間や道徳、いのちの学習等の授業を通して、身の回りだけでなく、様々な多様性を受け入れようとする心を育てる。②学年研・ブロック研・研修をいかして、職員一人一人の人権感覚を高める。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ●人権についての職員研修を定期的に行う。 ●道徳科の学校の教育計画を基に、道徳科の充実を図る。 ●道徳科、いのちの学習を通して、自己肯定感を高め、さらに友だちも大切にすることを育てる。 ●児童指導ノートを各学年で記入する。 ●児童指導ノートを活用して、学年研・ブロック研を行い、児童理解を深め、児童指導を充実していく。 ●人権週間等だけでなく、生活・総合等他の教科でも他者とのかわりを密にし、積極的に人と関わる場を設定する。
下半期	Intentionally left blank for content